

# みんなの図書館

木更津市立図書館報

第48号

発行日 平成29年 9月1日(金)  
(年4回発行)

発行者 木更津市立図書館  
木更津市文京2-6-51

TEL 0438-22-3190

FAX 0438-22-7509

木更津市立  
図書館 初

## 1日図書館員体験 開催しました



図書館ではこの夏、初めてのイベント「1日図書館員体験」を開催しました。小学校5年生～中学生までを対象に、図書館の仕事を体験してもらい、もっと図書館を身近に感じてもらおうとのことで、当初は1日限定、定員10名で予定をしていましたが、43名と多くの申込みがあったので、急遽8月19日(土)と24日(木)の2日間、定員も各12名と増やしての開催となりました。当日は図書館の成り立ちなどについてのお勉強、館内の見学、本のカバーかけ、カウンターでの貸出返却作業、排架(返却された本を棚に返す作業)、レファレンス体験(辞書を使っての調べもの)をしました。



書庫の見学

### フィルムカバーかけ



普段入ることのできない書庫の見学では、電動書架に「すげー!」との声があがり、初めて見るマイクロフィルム資料や点字資料に興味津々な様子でした。本のフィルムカバーかけも、手際よく上手にできました。カウンターでは、緊張しつつも貸出・返却ともに笑顔で接することができ、「大変だったけど楽しかった!」、「つかれたけどおもしろかった。」などの言葉が聞かれました。辞書を使った調べものでは、グループで力を合わせて取り組み、本を使って調べる楽しさを実感してくれたようです。



返却作業

1日図書館員としてがんばったみなさんに、修了証書を渡して体験は終了となりました。



1日という短い時間では、図書館のほんの一部の仕事しか体験してもらえませんでした、より図書館や読書へ興味を持ってもらえたら嬉しいです。

今回の経験をこれからの生活に活かし、本とふれあいながら豊かな毎日を過ごしてもらえたらと思います。

## ボランティア講座「音訳教室」を開催しました！

ボランティア講座「音訳教室」を7月22日・23日の2日間開催しました。

延べ28名の方が参加をし、参加者一人ひとりが声を出して文章を読み音訳を体験しました。文章の内容によって「普段使っている言葉とは発音が違う。」「読み方が違う。」など普通に話しているだけでは気が付かない発見がありました。また、2日目は、グループに分かれ、実際に音訳を行いました。最初は緊張していた方も、自分の声で編集、再生される音訳テープを聞いて「録音した自分の声が、違うように思えた。」「間違えても編集できるんだね。」と嬉しそうに学んでいました。参加者からは「また、音訳のこと勉強がしたい。」との意見もあり好評のうちに終わりました。



## 大人のためのおはなし会を開催しました！

小雨の降るなか、第8回の大人のためのおはなし会が6月25日に恵春庵で行いました。参加された35名の方たちは、笑いばなしではともに笑い、人ならぬものがでてくるお話ではともに畏れながら、語り手といっしょにおはなしの世界を楽しんでいました。

プログラム～足折つばめ・歌うふくろ・あめは毒・赤鬼エティン・かん太さまのいびき・カメの遠足・名人四人きょうだい



## 工作教室が開催されました！

7月29日(土)に行った工作教室では、図書館で所蔵している工作の本をもとに60名の子どもたちが年齢別に、紙皿で作る“かみざらギター”（なんとちゃんと音ができる！）や色紙で作る“パタパタパタン”を工作しました。飾り付けや色の組み合わせをそれぞれに工夫して、自分だけの作品が完成！みんなさっそく遊んでいました。



## 第1回れきおんミニコンサートを開催しました！

8月6日(日)に第1回れきおんミニコンサート「童謡詩人 西条八十」を開催しました。

12名の方が参加され、「かなりや」や「肩たたき」など5曲の懐かしい童謡を、国立国会図書館が公開している1900～1950年の貴重な録音音源で楽しまれました。

次回は10月9日(月)11時～11時20分に図書館2階郷土資料室にて開催します。「童謡詩人 野口雨情」をテーマに、木更津に縁のある「証城寺の狸ばやし」を中心に紹介しますので、ぜひ足をお運びください。





## ぼあちゃんの育児日記一ブックスタート編

「ぴょん！」まつおかたつひで//さく・え ポプラ社 ギン/E/マ

「じゃあじゃあ びりびり」まついのに//さく 偕成社 ギン/E/マ

首がすわり、おすわりもしっかりできるようになると少し知恵も働いてきているのを実感する。抱っこをせがむしぐさ、いやな時は首を振って「いやいや」をする。四六時中、いっしょにいる娘は子どもの要求を適当に取捨選択しながら対応しているが、たまに会うババは泣いたり大声を出していれば何事かとすぐ駆けつける。こんなに小さくても母親の反応を見ながらママとババを使い分けていると思うと、人間の脳の発達に驚異を感じる。

この頃、ブレイクしたのは‘ぴょん!’と‘じゃあじゃあ びりびり’。「ぴょん」という言葉の繰り返しに動物が飛びあがる面白さ、そして「ぶーぶー、わんわん」など身近に目にするものの鳴き声や物音に興味を示す。特にそれぞれ犬と猫のところでは体中をゆすって喜んでいる。

あやす人の顔をジーっと見るのもこの頃から始まり、特に口元を良く見ている。孫が喜びなので調子に乗って「あっぷっぷ」や唇や舌を使って音を出してあげていたら、上唇と下唇を震わせて「ぶーっ」とやるのはすぐ覚えてしまった。しかし、娘からは唾が飛ぶとブーイングだった。



## 夏期ベストリーダー（よく読まれた本）—2017年7月~2017年9月

（一般書）

1. 蜜蜂と遠雷 恩田陸//著 幻冬舎 41回
2. コンビニ人間  
村田沙耶香//著 文藝春秋 37回
3. 危険なビーナス  
東野圭吾//著 講談社 36回

（児童書）

1. おつきさまこんばんは  
林明子//さく 福音館書店 62回
2. 三びきのやぎのがらがらどん  
マーシャ・ブラウン//え 福音館書店 59回
3. がたんごとんがたんごとん  
安西水丸//さく 福音館書店 54回

※ベストリーダーは図書館HPでもご覧いただけます。



## 今年も参加します！生涯学習フェスティバル

木更津市民会館中ホールと木更津市民体育館で10月15日（日）に開催される生涯学習フェスティバルに図書館も参加します。図書館ブースではかんたんにできる工作や図書館員によるおはなし会を行います。また、利用の終わった点字本を再利用して作ったしおりの配布も予定しています。



## 《木更津市制75周年記念事業》

木更津市は今年で市になってから75年をむかえました。これを記念して市内では多くのイベントが催されています。図書館では毎年行っている雑誌リサイクルフェアと児童文学講座を記念事業とすることにしました。

また、2階展示スペースで記念展示「木更津の75年」として木更津市に関連する図書館資料を10月20日より展示します。

### 雑誌リサイクルフェアを11月5日（日）に開催します！

図書館が所蔵している雑誌は、それぞれ保存年限が決まっていますが、多くの雑誌は一年経過すると除籍（図書館資料から除くこと）になり、廃棄されます。

当図書館では、除籍済みの雑誌（今回は2015年に発行されたもの）を年一回『雑誌リサイクルフェア』で市民の皆さまにお配りしています。

昨年からは除籍した図書の提供も始めました。内容が古くなった本でも、料理本などの実用書は人気があります。

また3年前より市民の皆さんからの寄贈本を配布するようになり、配布点数がだいぶ増加しました。前回は1900冊の雑誌・図書が配布され、好評でした。特に児童図書は大変人気があり、開始から1時間もしないうちになくなる程です。

図書館では、『雑誌リサイクルフェア』の1か月前（今年度は10月）より、寄贈本の受付を行っております。ご家庭で不要の図書がございましたら、この機会にぜひご寄贈ください。



↑ 昨年ようす

### 平成29年度児童文学講座を11月11日（土）に開催します！

今年度は絵本作家・鳥の巣研究家の鈴木まもるさんを講師に迎えて、絵本のことや鳥の巣についてはもちろん、子育てのこと、いのちのことまで、幅広くお話をさせていただきます。なんと世界中から集めた本物の鳥の巣を20個も見せてくださるとのこと。楽しみですね。参加費無料、講演会終了後サイン会も予定しています。参加受付など詳しいことは館内ポスター・チラシ・図書館HPでご確認ください。



開館時間 水～金曜日 9時～19時 土・日・月・祝 9時～17時

\* 火曜日および毎月最終金曜日と祝日の一部は休館いたします。

\* おはなし会は毎週木曜日 15時半～（3～5歳）、15時50分～（小学生）です。

\* 赤ちゃんと一緒のおはなし会は毎月第1・第3・第5木曜日 10時半～、11時～です。

**編集後記** ツクツクポウシも鳴きだし、秋の気配が近づいて参りました。この時期は夏の疲れが体に出やすい頃かと存じます。のんびりと身体を休めながら、読書の秋をぜひお楽しみください。（H・F）

夏から秋へ、季節の移ろいを日々感じる時期になりました。日が落ちるのもいつの間にかすっかり早まり、虫の声をBGMに読書する時間はほっとできるひとときではないでしょうか。（S・H）